

6月14日(火)金沢ニューグランドホテルにおいて第1487回通常例会が開催されました。冒頭の堀岡会長より「コロナ禍の中、新しい時代に向けて活動できたのではないかと。1年間社会奉仕活動にご協力いただきましてありがとうございます。年間35もの事業を実施できたことに感謝申し上げます。コロナ禍、外部環境に影響されないアクティビティを考えなければならない。公募型の写生大会、書道大会、青少年育成、地域育成、同じ会場にて経費を抑えながら実施できました。ランドセル事業も、広げすぎで物だけ集めてどうするの?という意見もありますが、アフガニスタンのパイプ作りができればと思います。相手の顔が見えて直接渡せる事業のパイプ役にしたい。いまだに、ここだけ、あなたにだけにできる事業、一人も取り残さないSDGs寄り添うことを大切にしていきたいと思います。我々の伝統61年伝統、伝承、伝承には成長がなく、伝統はその時代にあって進化していくことではないかと思っています。7月に一人の新入会員の入会が決まっていますが、今後も会員50名を切らないように活動したい。」とあいさつされました。



多田浩人第二副会長



社会奉仕委員会
寺井誠 委員長

その後、第二副会長担当委員会から今年度の事業報告が行われました。まず初めに多田第二副会長より総括と担当委員長へ感謝の言葉が送られました。つづきまして、社会奉仕委員長寺井ライオンより「お母さんがつくる割烹風子供食堂」の実施報告がありました。会員である桂木L.に協力いただき、6組の親子が参加。お子様に大変喜ばれていました。ご協力いただき誠にありがとうございましたと報告されました。青少年育成委員会 東委員長からは、11月13.14日にレオン白山にて金沢東ライオンズ杯フットサル大会実施、11月末から1月17日まで、書初め公募の報告があり、「書き初め大会では148件の応募がありました。地域環境委員長の鳥



青少年育成委員会
東 龍盛 委員長

地域環境委員会
鳥居 明 委員長

居さんとうまく協業でき、予算も縮小できました。」と述べられました。

地域環境委員長の鳥居委員長からは、写生大会の実施について、中山副委員長と協力し各学校にお願いに回った苦労などのエピソードや、卯辰山清掃では清掃道具を購入し、機能的に充実したことが述べられました。

最後に中長期ビジョン提言チームの作田チーム長より次年度以降に向けてのビジョンの発表がありました。「新しいことを続けながら革新していく伝統の心をもって活動していきたい。」

50周年清水L.が会長の時にチャーターナイト座談会の冊子が事務局にあります。また、2015年越田ライオン以下10名で中長期の提言レポートがあります。一度確認いただければと思います。卯辰山三社昨年中山ライオンが作った冊子も若い方にはぜひ読んでほしい。

日暮が丘、花菖蒲園、眺望の丘、自然の中の公園でありますから人の手を使って維持できればと思います。会員については60名~80名が望ましい。女性会員の募集、亡くなられた会員のご子息様などの勧誘をしていきたい。例会の時間をうまく使うことによって講師の先生にできるだけ多くの時間を提供する。新入会員にたいして、コミュニケーションを図れる例会をしていく。

アクティビティからのコミュニケーションからの勧誘をしていくことも大事なのではないかと思います。」と話されました。



中長期ビジョン提言チーム
作田一則 チーム長